

2024年度 自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川みその幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、

1. 神に創られ愛されている存在であることを自覚し
心身の調和的発達を図りながら基本的生活習慣を身につける
2. 集団生活の諸経験の中で神と人とを愛する心・信頼する心を養い
自発的に善を行う強い意思が芽生えるように導く
3. すべてのものが神のみわざにより存在していることを知りその恵みに感謝しながら
自然や身の回りのものを大切にする心を育てる
4. 人々との関わりや祈りによる神との語らいの中で『聞く・話す・考える力』を養い
自分の意思をことばで示す力を育てる
5. 一人ひとりが神様から与えられた力を充分に発揮し楽しんで表現活動に参加できるように導く

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼稚園教育課程の内容を確認し、職員会議などを通して教職員の共通理解を図り教育の質を高める。
- ・保育者は園児が有意義な園生活が送れるよう日々研鑽を積み重ね、創意工夫をしていく。
- ・職員が自己点検・評価を実施することによって客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善や施設の改善に主体的に取り組んでいく。
- ・保護者とのコミュニケーションを深めニーズを確認することで、地域に根ざした魅力のある幼稚園を目指していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容および指導の在り方等を精査、指導計画を策定し教育内容の充実を図る	・カトリックの教えを基礎とした園の教育理念と目標の共通理解を深めるため、研修や話し合いの場を定期的に設けている。今後も職員一人ひとりが自ら教育内容を充実させていけるように環境整備を継続していく。また、今年はクッキングの回数を増やして食育活動をより充実させ、園児の発達段階にあわせた献立や作り方などについて、打ち合わせの機会を増やして取り組んだ。
2 保育の在り方 幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る	・安全管理について、日常の小さなケガなどはあったものの、感染症対策や避難訓練などを含め、施設・環境・指導に留意してきた。他の施設で発生した事故などを教訓に、研修を受けながら事故防止の対策を続けるとともに、より一層の注意を払っていく。 ・教職員全員の共通理解のもと園児一人ひとりを大切に見守り、情報や意見の交換を十分しながら保育を行った。 ・預かり保育や未就園児親子教室など、子育て支援を例年通り実施出来た。保護者や地域の求めに合わせた開放事業についてよく調査し、実施していきたい。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る	・保育者としての意識・自覚・責任を常に持つよう心がけ、園児一人ひとりの成長に喜びを感じ、使命感を持って保育に携わった。 また、研修参加や実践を行う中で資質の向上を目指すよう務めた。さらに多面的なスキルを得るため自己研鑽を積んでいく。
4 保護者への対応および家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る	・個人懇談や通信をはじめ、必要な時は個々に連絡を取るなど子どもの様子をできるだけ密に保護者に伝えるよう努めた。基本的には紙の連絡帳やおたよりを廃止し、ICTサービス「ルクミー」アプリを活用しながら、コミュニケーションの円滑化を図った。また保護者からの相談や要望については、常に教職員全体で話し合い、対応をするよう心掛けてきた。今後も相手の立場に立って思いを巡らせながら、真摯な対応が出来るよう職員間の共通理解を図っていく。

5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わりおよび小学校等との連携を図り、地域開放の努力をする	・数年ぶりに旭川盲学校幼稚部との交流を再開することが出来た。園児たちは喜んで交流していたため、次年度以降も継続出来るよう、盲学校との連携を取りながら計画を進めていく。 ・市内合同作品展に参加したり、勤労感謝訪問をしたりと、多岐にわたる園外活動で地域社会と交流を図ることが出来た。 ・小学校との連携については、学校便りなどにより学校活動の理解に努めた。 ・園開放事業「ひだまり」では地域の方々にご参加いただいた。
6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする	・会場やオンラインでの研修を活用し、以下の研修会に参加した。レポートの提出および園での振り返りによって学びを深めた。 市私立幼稚園協会研修（5回）、経営・リーダー研修（2回）、カトリック新任研修（1回）、カトリック学園研修（1回） 北海道カトリック教職員研修（1回）、園内研修（10回）
7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ積極的に園便り等で情報公開する努力をする。	・園だよりや各種のお知らせ、ホームページ、Instagramなどでの配信を通して園の教育方針や園生活の様子などを積極的に公開するよう努めた。また、敬老の行事や聖劇の際には、会場に来られないご家族のためにWEB配信をした。情報公開についてはさらに充実と工夫を図っていく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の特色である少人数のよさを活かしながら、実際に見て触って聞く体験活動や子ども主体の保育について、幼児の実態を踏まえた指導計画のもと、教職員が共通理解・自己評価をしながら取り組むことができた。保護者とのコミュニケーションを深めニーズを確認する努力をしてきたが、これからも広い視野で関わることが出来るよう工夫や見直しが必要である。評価により見えてきた園としての課題・個人の課題にさらに取り組んでいきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
安全管理	安全管理について日頃より啓蒙しているが、施設面での対応が必要な箇所を整備し教職員の意識づけを徹底する。感染対策についても引き続き換気や衛生管理をしていく。また災害時の対応については火災・地震だけでなく様々な事態への対応を想定する。避難訓練後などに反省の機会を持ち問題点など見直ししながら常に園児の安全確保を図ることが出来るようにする。
指導計画の編成	園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画の編成に取り組み、園の特色・独自性がはっきり現れるようにして行きたい。特に子どもが主体の創造性を伸ばす教育の充実を図る。
園に対する保護者の満足度の把握	本学園建学の精神のもと、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握しながら改善向上に努めていく。

6. 学校関係者の評価（保護者の皆様より：とても良い・良い・あまり良くない・良くない の4段階評価）

1.保育の計画性：とても良い16・良い5 2.保育のあり方・幼児への対応：とても良い15・良い6 3.保育者としての資質と能力：とても良い17・良い4 4.保護者への対応：とても良い17・良い4 5.地域の自然や社会とのかかわり：とても良い13・良い8 6.研究と研修：とても良い16・良い5 7.情報公開：とても良い15・良い6 ・総体的には「とても良い」もしくは「良い」との評価をいただいた。 ・少人数であることと縦割り保育のよさを活かし、個に寄り添った対応を大切にしていることや、全体での体験活動、食育などの充実を図ってきたことに対し、おおむねよい評価をいただいた。 ・皆様からの貴重な声をふまえて来年度も検討や見直しなどを重ね、魅力的な幼稚園づくりを目指していく。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間に周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。
